

2009年8月28日

各 位

みずほ信託銀行株式会社

年金基金向け不動産私募ファンドの組成について

みずほ信託銀行株式会社（取締役社長 野中 隆史）は、このたび年金基金のお客さま向けに不動産私募ファンドを立ち上げ、物件の取得を完了いたしましたのでお知らせいたします。

1. ファンドの概要

投資形態	匿名組合出資による不動産私募ファンド
アセットマネージャー	みずほ信託銀行
ファンド規模	約 55 億円
レバレッジ（借入金）	フルエクイティ（借入金は利用せず）

2. ファンドの特徴

不動産賃貸市場の現状や安定した利回りが期待される運用商品に対する年金基金のお客さまのニーズを勘案し、借入を利用しないフルエクイティの賃貸住宅ファンドとしました。レバレッジを効かせないフルエクイティの投資を行ないますので、金利変動リスク、リファイナンスリスク、担保実行リスクが無いものとなっているため、従来型のレバレッジを効かせたファンドと比べるとリスクが低いものになっています。

なお、本ファンドは募集が終了しており、現在は投資することができません。

以 上